

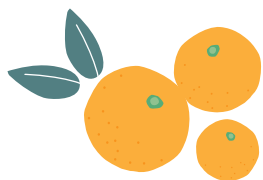


佐那河内村 総合計画

概要版



令和2年4月
佐那河内村



はじめに

現在、我が国は本格的な少子高齢化・人口減少社会を迎えるとともに、人口の東京一極集中の流れが加速するという厳しい状況が続いています。また、台風や地震などによる大規模な自然災害や、新型コロナウイルスの感染拡大など、想像を超える事象が多発し、地域の安全・安心に大きな影響を及ぼしています。

こうした中、佐那河内村では、村の今後10年間のあるべき姿を求め、持続的な発展を目指していくため、佐那河内村総合計画の策定に取り組んできました。計画策定に当たっては、住民満足度調査やワークショップで寄せられた多くのご意見を基に、総合計画策定委員会で議論をいただきました。



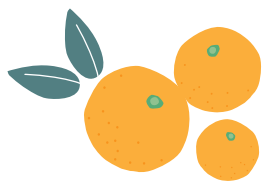
こうして策定した総合計画は、めざす将来像を『豊かな未来に向かって つづくむら宣言 さなごうち』とし、しごと・雇用の創出や新しいひとの流れづくりなど、村民の皆様の福祉向上と地域活性化に欠かすことのできない重点施策を盛り込みました。

本村が、1021～1024年に「さなごうち」と呼ばれるようになってから、まもなく1000年を迎えます。これまで培ってきた歴史や文化・伝統、そして人と人とのきずなや、常会・講中などの地域コミュニティの強さ、さらには先人の知恵と積み重ねてこられた努力を継承し、これから先の1000年も、「さなごうち」が「さなごうち」でありつづけられるよう村民の皆様とともに取り組んで参ります。

結びに、計画策定に当たり、多大なご尽力を賜りました総合計画策定委員会委員の皆様をはじめ、貴重なご意見、ご提案をいただいた村民の皆様に厚くお礼申し上げますとともに、今後とも計画の実現に向けた取組に、一層のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和2年4月
佐那河内村長 岩城 福治





「佐那河内村総合計画」の概要



1. 計画策定の趣旨

現在、我が国では、人口減少や少子高齢化の進展、地震や台風などによる大規模災害の発生、経済のグローバル化などにより、社会経済情勢が大きく変化し、地方自治体は多様化・高度化する地域課題に対応していくことが求められています。

このような中、本村においても、村内外の動向に的確に対応し、住民と行政の協働を通じ、より良い佐那河内村を築いていくため、新たな村づくりの指針として、佐那河内村総合計画を策定しました。

本計画は、本村ならではの恵まれた自然環境、長い時間をかけて培ってきた文化や人と人とのふれあいなどを大切にしながら、村の誕生から1000年を経て、豊かな未来へ向かって「持続可能な村づくり」を行うための指針となるもので、今後の毎年度の予算編成や事業の立案などの基本となります。

今後は、新たな総合計画を基に、次の1000年に向けた「持続可能な村」づくりを目標に施策を展開していきます。



2. 将来像

テーマ：豊かな未来に向かって つづくむら宣言 さなごうち

村の誕生から1000年を迎え、本村にしかない「恵まれた立地」、「人と人とのきずな」や、代々受け継がれてきた「歴史や文化」、「豊かな自然」、「農林産物」などの地域の宝を最大限に生かし、次の1000年に向けた「持続可能な村づくり」を推進します。

3. 基本的な考え方

(1) 協働の村づくり

住民参画の推進を通じた住民、各種団体、行政等の連携による村づくり

(2) たすけあいの心を未来につなぐ人権の村づくり

お互い様の心を継承し、男女共同参画など人権を大切にする村づくり

(3) 安心して暮らせる村づくり

福祉・保健・医療の充実や自然災害への対応強化などによる安心な村づくり

(4) 生き生きとした魅力あふれる村づくり

移住・定住の促進や産業振興、学校教育の充実による魅力あふれる村づくり

(5) 広域的視野に立った村づくり

近隣及び関係市町と連携した広域的視野に立った村づくり

(6) 国や県等との連携による効率的かつ効果的な村づくり

国や県、その他の地域計画との連携のとれた効率的かつ効果的な村づくり

4. 将来の目標人口と目標移住者受入数

(1) 目標人口

2040年 1,800人を目指します

2060年 1,600人を目指します

(2) 目標移住者受入数

子育て世代 25～30組（5組／年）

リタイア世代 10組（2組／年）

● 2～3組／年：30歳代前半夫婦が4歳以下の子どもを連れてU・Iターン

● 2～3組／年：20歳代前半夫婦がU・Iターン

● 2組／年：60歳代前半夫婦（定年退職者）がU・Iターン



5. 基本計画

第1章 快適で安心して暮らせる村をつくります

これまでに整備した社会資本の質的向上や、公共施設の計画的な維持管理や効率的な運営に努め、住民の暮らしや生活環境を高めます。

また、豊かな自然環境や農村景観など恵まれた資源の適正な管理と維持保全に努めるとともに、住民や行政が連携して快適な環境づくりを推進します。

1 安心して暮らせる社会基盤の整備

- ①道路網の整備
- ②公共交通機関の確保と通信網の整備
- ③水道・農業集落排水の整備
- ④公園・緑地などの整備
- ⑤住宅環境の整備
- ⑥治山、治水対策と河川整備



2 住みよい環境づくり

- ①自然環境の保全と景観形成
- ②環境衛生・美化対策の充実
- ③ユニバーサルデザインによる施設整備



3 安全な村民生活の確保

- ①防災、消防、救急体制の確立
- ②交通安全対策の推進と防犯体制の確立

第2章 健康でひとに優しい村をつくります

誰もが住み慣れた地域で、安心して共に生きることができる地域福祉の体制や、健康で安心して暮らせる社会環境づくりを進めます。

また、今後も少子・高齢化が進むことが見込まれるため、子育てのしやすい環境づくりを進めるとともに、社会的な援護を必要とする人に対する支援や、元気に老いを楽しみ、社会に貢献できる環境づくりを進めます。

1 安らぎの社会を育む

- ①福祉を支える体制づくり
- ②児童・ひとり親家庭福祉の充実
- ③高齢者福祉の充実
- ④障がい者（児）福祉の充実
- ⑤社会保障制度の適正な運用



2 保健・医療の充実

- ①保健活動の充実
- ②医療の充実



第3章 ひとが生き生きと学び続ける村をつくります

子どもたちが、思いやりの心を持ち、たくましく生きる力を育む教育環境の整備や、生涯学習の環境づくりを進めることにより、次代を支える人材の育成を推進します。

また、子どもたちの健やかな成長を促す食育の推進や、生活の営みに培われた歴史や地域文化の継承に努めます。

1 幼児教育・養護の推進

- ①幼児期における養護・教育の充実

2 学校教育の推進

- ①義務教育（小中一貫教育）の充実
- ②学校給食の充実

3 社会教育、文化、芸術、スポーツ活動の振興

- ①生涯学習と社会教育の推進
- ②文化、芸術の振興
- ③スポーツ活動の振興



第4章 産業が元気で生き生きと働ける村をつくります

農産物のブランド化、経営体質の強化、担い手の育成・確保など、農業の振興施策を総合的かつ計画的に推進し、本村農業の持続的な発展を目指します。

また、地域資源を生かした新たな産業の育成や、本村での創業支援、地場企業の育成により雇用の場の創出を図ります。

さらに、本村の観光資源を最大限に活用した新たな観光メニューの創出などにより、観光振興を推進します。

1 農林業の振興

- ①農業の持続性の確保
- ②森林資源の活用

2 地場企業の振興

- ①地場企業の育成・支援
- ②活力ある商業の育成・支援

3 観光の振興

- ①資源を生かした観光の振興



第5章 参画と協働で支え合う村をつくります

村政の適切な情報提供により、住民、企業、団体や行政が共通認識のもと、互いに連携し、協働する、住民主体の村づくりを推進します。

また、行財政改革を進め、安定した行財政基盤の確立を図り、持続可能な自治体経営の実現を目指します。

1 住民主体の村づくり

- ①住民参加と活力ある村づくり

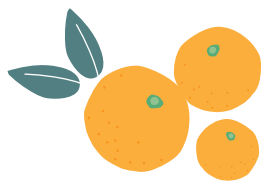
2 安定した行財政基盤の確立

- ①安定した行財政基盤の確立

3 男女共同参画の推進

- ①男女共同参画の村づくり





「佐那河内村地方創生総合戦略」の概要



1. 策定の趣旨

佐那河内村は、徳島県唯一の村であり、常会等の住民自治組織が、今も多く存在し、地域の心ときずなをつなぐコミュニティ組織が継承されています。

これまで受け継がれてきた佐那河内ならではの「和・環・話」という3つの『わ』を育てていくことを地方創生総合戦略の目標として掲げ、美しい自然や優れた景観などの魅力を次の世代へ伝えていこうとするものです。



2. 基本理念

テーマ：県唯一の村の「わ」を次世代へ向けて育む

次の世代に向けて「佐那河内村」の魅力を伝え、関係する全ての人々とともに、本村を支える「和（きずな）」、「環（つながり）」、「話（コミュニケーション）」という3つの「わ」を育てることにより、地方創生の実現につなげます。



3. 基本施策



（１）しごと・雇用を創出する

- ①企業の誘致及び維持
- ②起業者及び継業者の支援
- ③佐那河内ブランドのＰＲ
- ④農業支援



（２）新しいひとの流れをつくる

- ①転出人口の抑制
- ②転入人口を増やす
- ③関係人口を増やす



（３）若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

- ①結婚支援
- ②出産支援
- ③子育て支援



（４）交流拠点の充実や地域連携などの村づくりを進める

- ①交流拠点の充実
- ②地域連携の強化
- ③地縁組織支援と移住者との連携



佐那河内村総合計画

概要版

発行年月：令和2年4月

発 行：佐那河内村

編 集：佐那河内村 企画政策課

住 所：〒771-4195 徳島県名東郡佐那河内村下字中辺 71 番地 1

電 話：088-679-2973

F A X：088-679-2125